



学生ボランティアを経験して分かる、 「若い」力の重要性

大学コンソーシアムひょうご神戸
学生交流委員会
山村 光貴

目次

- この活動に参加した動機
- 名取市閑上地区ってどんなところ？
- 主な活動内容
- 活動を通じて感じること、学ぶこと
- 学生という「若さ」の重要性

参加した動機

- 大学で掲示されていたポスターを見て応募

→最初からやろうと思って応募したわけではなかった

→では、そこから今も続いているのか??



うーん…
全くもって謎で
ある…

名取市閑上地区ってどんなところ？

- 人口：2148人（平成29年4月末現在）
- 名取市の約2%にあたる（名取市は78,109人）
- 名産品：赤貝、セリ、笹かまぼこ
- 名所：閑上の記憶、閑上港



どういう活動を？①

- 3つの「つ」を理念とし活動

「つたえる」

→現地が今どのような状況なのかを**つたえる**

「つながる」

→現地に暮らしている人達と**つながる**

「つづける」

→活動を一度きりにせずにも**つづける**

どういう活動を？②

- ・震災に関することの事前学習

→どういう震災だったかを改めて学習

- ・現地での事前ヒアリング

→現地でどういうことが必要とされているかを調査

- ・現地で何を行うかを企画、準備

→学んだこと、集めた情報を元に学生だけで話し合い、企画を立案

どういふ活動を？③



どういふ活動を？④



どういふ活動を？⑤



どういふ活動を？⑥



活動を通じて

- 自分が知らない一面を見ることが出来る
→現地に訪れることで分かる状況、空気
- 復興状況が目に見えて分かる
→1年に1度訪れることで変化を目で見れる
- 視野や考え方に広がりが出る
→多くの人とのコミュニケーションによって新しい考え方や見方を得られる
- 今生きている重みを知る
→生きていけることは当たり前ではないということ

学生という「若さ」

- フレッシュさを持っている
→元気の良さが色々な人に好影響を与える
- 可能性、伸びしろが無限大
→きっかけ一つで大きく成長できる
- フットワークの軽さ
→2つの長期休みがあり、社会人に比べ圧倒的な時間がある
- コミュニケーション力
→どんな人でも臆せず話すことができる

学生の中にボランティアを経験するとは

- ・自身の視野や考え方を刺激できる
→物事を1つの視点ではなく多くの視点から見たり考えたりできる
- ・同じ志をもった仲間ができる
→仲間ができることによって人生の充実。加えて様々な情報を得ることができる。
- ・次に繋がることになる
→様々な人と出会い刺激を受けることで、別の活動に参加したり、継続して参加したりできる
- ・多くの人に伝えることができる
→学生には多くの発表できる場がある。そういうことに参加し発表することで多くの人に活動や現状を知ってもらえる

さいごに

本当に重要なのは若さでも、学生でもなく

いつまでも

忘れないということ



現地を訪れるのが
最大の
ボランティア！



ご清聴ありがとうございました！